

# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 30/Sep/2024/vol.799



## 上勝あしらい 秋の風情-赤もみじ/テシオ・青もみじ（徳島県産） Japanese Maple Leaves

中国・唐の時代の詩人である白居易（はくきょい）が、「林間煖酒焼紅葉」（林間に酒を暖むるに紅葉を焼（た）く）と詠んだ詩が平安時代に日本に渡り、それまで「黄葉（こうよう）」と呼ばれていたのも「紅葉（こうよう）」と書くようになったとか。その後日本の貴族の間でも、紅葉を愛でながら宴を開き、その美しさを和歌に詠んで勝負する「紅葉合」が流行し、あえて「紅葉狩り」と呼んだのは、狩りのごとく紅葉を探し求めるものに譬えた…などなど…なんとも優雅な風景が目に見えます。今や日本人だけではなく、春の桜、そして秋の紅葉のシーズンは海外からの旅行者にとっても飛びぬけて人気です。特に神社仏閣、日本独特のシーンに溶け込むように鮮やかに輝く赤もみじは、日本の雅やかな文化を象徴する風景そのものなのだと感じます。初夏や夏に清涼感ほとばしる「青もみじ」、そして収穫の秋と共にその後真っ赤に景色を彩る「赤もみじ」の2種が同時に季節の移ろいのあしらいとして楽しむのもちょうど今。赤もみじ「テシオ」は「千染紅葉」とも呼ばれています。日本も近年気候の変動もあり、夏や冬に比べ春や秋が短くなったともいわれることも多くなりましたが、息をのむほど美しい日本の紅葉を、秋の到来とともにお食事やお飲み物に添えてじっくりとゆったりと楽しんでいただければ幸いです。